

＜「森と人」平成 28 年 11 月号 HP 版 いしい林業補足ページ＞

1 会社概要

(1) 従業員等

所在地：〒415-0321 静岡県賀茂郡南伊豆町毛倉野 619

電話等：0558-62-0093

<http://ishiiringyou.sp.land.to>

E-mail: ishiiringyou@amail.plala.or.jp

H28 現在 社員数 15 人 内訳：社長、奥さん、従業員 13 人

林業：伐採班（3～4 人×2 班）と作業道整備班 2 人

農業等：2 人

事務：3～4 人（内 施業プランナー 2 人）

狩猟：ワナ免許所持 6 人（15 人の内数）

・ 従業員現況

出身地	人数	年齢	人数	その他
地元	4	20 代	3	施業プランナー 2 人
東京都	2	30 代	4	狩猟免許所持者
埼玉県	2	40 代	4	ワナ免許：6 人（社長含む）
神奈川県	2	50 代	1	趣味人
石川県	1	60 代	1	サーフィン 3 人
青森県	1			シー カヤック 1 人
静岡市	1			ツリークライミング 多数
計	13	計	13	



ヤギの飼育場にて社員のみなさん

(2) 林業

・ 作業システム

高密度作業路網（200m/ha）の基盤整備で間伐木の搬出実施

基盤整備できない急傾斜地は切捨て間伐

チェーンソー伐採＋グラップル木寄せ＋チェーンソー造材＋フォワーダ運材

・ 機械保有台数等

種 類		
グラップル付きフォワーダ	モロオカ 3.8 t	1 台
グラップル	0.25m ³	3 台
バックホウ	0.10m ³	2 台

・ 木材生産量と低コスト化

H27：2700m³ H28：3000m³ 以上を目指す。

無駄な仕事や動きはしない。

確認、反省、確実な仕事、手戻り無しを目指す。

従業員全員に「伐ったら出す」意義が浸透し、年々生産効率は向上して同じ人数で生産量が増加している。

現場は、南伊豆町、下田市、西伊豆町、伊豆市（旧土肥町）など主に伊豆半島。

・ 安全対策

定期的なミーティング開催 ヒヤリハット事例など月に 1 回以上のペースで実施し従業員が意見を出しあう。毎朝朝礼で安全確認と現場で基本動作確認を実施

・ 丸太の販売先開拓

南伊豆地域は人口が少ないため住宅の新改築や製材所も少ない。丸太のサイズさえ合えば協定単価で全量売れる富士市の合板会社が大きな販売先となっている。

清水区の木材流通会社との取引により丸太を松崎新港から貨物船で輸送している。一部は中国、台湾、韓国に輸出されている。

また、広葉樹も製紙用チップ向けに出荷している。

一般に流通しない種類の木も伐るので、それを簡易製材機で板などにして売るようにしたい。



左上：チェーンソー伐採・造材
した丸太をグラップルで整理



左中：運材フォワーダ用の森
林作業道



左下：トラックに積込み待ちの丸太

(3) 地域の問題への対応

地域には様々な問題があるが、会社としてやれるものは前向きに取り組む。

- ・ 農業（米、キャベツ栽培）、ヤギ、有害鳥獣の狩猟
 - ◇ 地域の大きな問題である耕作放棄地の解決策として開始した。
 - ◇ ヤギ放牧で耕作放棄地の除草をやっている。草がなくなれば米やキャベツを栽培している。農作物は栽培・収穫スケジュールに縛られ林業に比べると作業スケジュールの自由度が低い。
 - ◇ ヤギは、南伊豆こども園の子供たちなどが喜んでくれる。観光客も車を止めてみてくれる人もいて、一種の観光資源にもなっている。
 - ◇ また、除草用などにヤギを借りたいという依頼も増えている。
 - ◇ 南伊豆町でもシカ・イノシシが非常に増え、農作物や植林した苗木の食害がひどい。山の中の下草も食べられ保水機能や防災機能が低下している。
 - ◇ 自分たちで何とかしなければと会社として狩猟に取り組んでいる。



キャベツの生産



耕作放棄地でのヤギによる除草風景

- ・ 環境教育

地域の小学生や一般の人向けの林業教室の開催や、NPO 法人きこりサーフーズとの共催でツリークライミング体験会などを開催している。



小学生向け林業教室



成人向け林業教室

2 従業員へのインタビュー抜粋

(1) Mさん (37歳) 東京都出身 (セールスドライバーから転職)

- ・サーフィンが趣味、子育ては田舎で行いたいと考えていた、夫婦で東京から南伊豆町にきた。
- ・夕方からは家族と一緒に生活が基本となっている。
- ・伊豆には伊豆の良さがある。人との付き合いは深いし、都会と違い山、農地、海、ヤギのいる環境があり子供はほっといても自然の中で遊ぶ。
- ・NPO法人「きこりサーファーズ」を2013年に立ち上げ、ツリークライミング等のイベントを行っている。
- ・林業だけでなく農業、ヤギ飼育や環境教育など自然を相手にしているので、色々な切り口で仕事が広がる。将来は会社が都会に進出することもあり得る。

(2) Yさん (45歳) 埼玉県出身 (電気機器製造から転職)

- ・シーカヤックが趣味、伊豆のダイナミックな海が最高に気に入っている。
- ・仕事は忙しいが自分たちの成果が現場で確認できて達成感がある。
- ・補助金がないと成立しない林業では不安もあるが、営業やロコミで仕事は順調に増えている。

(3) Kさん (32歳) 埼玉県出身 (大工から転職)

- ・インターネットでいい林業を見つけ、奥さんと3人の子供さんと一緒に南伊豆町に移住
- ・家族全員がサーフィンを趣味とし休みの日に楽しんでいる。
- ・都会と違って近所付き合いもあるし、日々の生活の中に季節感がある。
- ・今後は、雑木を手掛けていく必要があると思うが、伊豆半島のような地域に合った補助制度が必要と感じる。

(4) Mさん (39歳) 近隣の東伊豆町出身

- ・実家は漁業だが、今は下田市に住んで通っている。
- ・林業はやっていて楽しいと感じる。